

2015年 施工写真コンテスト 総評

今年もメイクランド施工写真コンテストに数多くの作品をご応募頂きましてありがとうございました。審査員を代表して今年のコンテストの総評を述べさせていただきます。

門まわり・車庫まわり部門におきましては応募作品も多く入選も狭き門となったかもしれませんが、メイクランド商品と植栽がうまくコーディネートされている作品が多かったと思います。そのスタイルもスタイリッシュなものから和風まで幅広く、建物の雰囲気にもよく馴染んでおります。

庭まわり部門は大小様々でしたが昨今の狭小地化にともない玄関まわりを前庭と捉えて意欲的に提案されている事例が多くありました。レンガや自然石の乱貼りのテラスも提案も多く、土の露出を抑えた雑草対策にも考慮したガーデンのニーズがあることを感じました。

エクステリアリフォーム部門は部分的な改装だけでなく殆どの部分をやり替えるフルリフォームの事例が多く劇的に印象が変わっておりました。今後はこのエクステリアリフォームの工事が増えると思いますので参考にして頂ければと思います。

ナイトシーン部門はLEDの登場により照明器具の小型化と低価格化が進み提案しやすい環境が整って参りました。美しくライトアップされたエクステリアは間違いなく感動的ですが防犯上も優れております。引き続き積極的ご提案下さい。

アイデア部門はちょっとしたアイデアや工夫を評価させていただきます。デザイナーさんは感性を、職人さんは施工の技術をアピールして頂き意欲的な作品をご応募下さい。

パブリック・街並み部門はまだまだ応募作品の点数が少ない部門です。良い事例があれば入賞の確立も高い部門です。施工数量や面積ではなく公共の場としての潤いや癒やしが感じられる作品の応募を期待しております。

これからの日本のエクステリアはコンクリートや金物だけでなく自然石や植物、照明とのコーディネートがとても重要になって参ります。経年変化が楽しめるエクステリアは長く愛されるエクステリアでもあります。次回は第12回目のコンテストとなりますが今年以上に皆さんの力作が集まることを期待して総評とさせていただきます。

メイクランド施工写真コンテスト

審査委員長 古橋宜昌